

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 エコクリーンセンター長寿命化等検討委員会
開 催 日 時	平成30年9月10日(月) 13時30分～16時45分
開 催 場 所	エコクリーンセンター 2階研修室
協 議 事 項	(1)第2回検討委員会指摘事項について (2)各検討方針案について (3)検討報告書(素案)について (4)その他
出 席 委 員	山口大学大学院創成科学研究科教授 樋口 隆哉委員長 島根県立大学総合政策学部准教授 豊田 知世 島根職業能力開発短期大学校校長 紀 高志職務代理者 浜田市 市民生活部長 斗光 秀基 江津市 民生部門参事 村上 郁夫 浜田地区広域行政組合事務局長 宇津 光 計6名
事務局の出席者	浜田地区広域行政組合 総務課長 渡邊 哲也 総務課総務係長 三浦 幸司 総務課業務係長 佐々木 茂伸 総務課主任主事 柴田 浩司 株式会社日本環境工学設計事務所 技術部部长 瀧島 満 株式会社日本環境工学設計事務所 稲村 ゆかり
傍 聴 者	浜田市 環境課長 野田 貢治

発言者	内容
次第1 開会	
事務局	(事務局挨拶)
次第2 あいさつ	
委員長	(挨拶)
次第3 報告事項(1) 第2回検討委員会指摘事項について	
事務局	(資料の説明)
委員	平成29年度を追加した基幹改良工事発注内容表にある、同一処理方式、処理規模ごとの発注金額や処理量は当てはまるものを合計しているものだが、t当たり単価はその合計を除算したものか。
事務局	そのとおりである。
委員	平成28,29年度を考慮した表を作成し数字が新しくなっているが、平成29年度を考慮したt当たり単価の方が安くなっている。
事務局	そのとおりである。
委員	実績でのt単価は流動床式がストーカー炉に比べて高くなっているが、一般的にはどうなのか。
事務局	一般的には大きな差異はない。しかしガス化に関しては高くなる傾向がある。
委員	本検討委員会は、事業比較表にある結果で結論を出すことになるが、これらを安全サイドという考え方はどのようなものなのか。
委員	今回、平成29年度の金額が安くなったが、安全サイドから見ると数字が独り歩きすることがあってはならないこと、また、前回においてはきちんと数字が出されていたのが平成28年度までだったこと、平成29年度を考慮すると金額が一割下がることを踏まえると、平成28年度までの実績で考えていくことが妥当だと言えるのか。
事務局	あくまで検討資料として取り扱う、予算とはまた違うものであるという条件のもとであれば、最新データであることに越したことはない。先ほどにも述べたが、最新のデータを含めると金額が安くなるため、LCCから見てもより有利となる。
委員	やはり資料は多いほうがいい。結果今回は単価が下がったが、工事とはまた別問題である。検討委員会での資料はあくまで方向性を示すものであるという前提の説明をきちんと記載し、誤解が生まれないようにすることが大切である。
次第4 報告事項(2) 各検討方針案について	
事務局	(資料の説明)
委員	方式の項目名の表現をもう少し分かりやすくして欲しい。
事務局	拝領。
委員	事業費の実質負担額の数字は、事業費から交付金を抜いた後に、さらに過疎債を抜いた数字なのか。
事務局	そのとおりである。第2回委員会資料において算出結果を載せている(添付資料)。内訳合計に実質元金償還額を載せている。過疎債では一般財源の持ち出しがなく、起債が付き、その内70%が戻ってくるので実質負担額は30%となる。

委員	これはメーカーには当てはまらないのか。
事務局	CO2 削減をした場合は交付対象事業で過疎債も該当する。
事務局	現在資料に平成 29 年度の実績が反映されていないので、反映させる。また、メーカー試算額についても、過疎債が反映されていないので反映させる。
委員	事業費の実質負担は現在の価格ということで、LCC によるコストには反映されているのか。
事務局	基幹的設備改良事業及び施設更新事業においては 4%の社会割引率を反映させて LCC を算出している。
委員	点検補修費については 4%を差し引いたもので、実質負担額というものは出てこないのか。
事務局	出ていない。現在、10 年先の金額が現状だとどのようになるのかを算出し、比較している。
事務局	(資料の説明)
委員	表の構成についてだが、方式の位置の変更をしたほうが良い。
事務局	拝領。
委員	施設更新事業というのは分かりづらいのではないかと。
事務局	新施設事業に変更する。
委員	メリットデメリットに関しても、環境などの側面毎に項目を分けたほうが見やすいのではないかと。
事務局	拝領。
委員	事業比較表のメーカー金額についての根拠資料は必要ないかと。
事務局	事務局にて、メーカーヒアリングした結果で根拠資料はない。
委員	事業比較の CASE1～5 の表現を簡略したらどうか。
事務局	委託仕様に沿った表現 (項目) である。
次第 5 報告事項 (3) 検討報告書 (素案) について	
事務局	(資料の説明)
事務局	各検討方針案での修正に合わせて、検討報告書を修正する。その後確認していただき、指摘をいただきたい。
委員	題目の間違ひがある。また、項目が 1 つのみの節は番号がなくてよい。LCC 以外の説明に関しても、詳しく記載して欲しい。
次第 6 その他	
事務局	第 4 回については、また改めて連絡し、日程を決定する。予定では 10 月となっている。
委員	修正等のめどが立ち次第事務局で日程調整して欲しい。
事務局	拝領。